善意銀行だより

令和元年6月1日～令和元年8月31日まで
（敬称略）

生活用品

○ビデオ
福良ビデオ

○ビデオ
福良ビデオ

○ビデオ
福良ビデオ

障がいがあっても自分らしく地域で暮らし続ける

最近、「地域共生社会」という言葉をよく聞くようになりました。これは、高齢の方も障がいのある方も、子どもも、外国人もみんながお互いを認め合い、それぞれに役割を持ちながら支え合って生活できる社会のことです。希薄になってきた人と人とのつながりを改めて作っていくことで、誰もが孤立せずに、その人らしい生活を送ることができる地域づくりが求められています。
今回は、障がいのある方の暮らしに焦点を当て、社協が行っている事業や障がいのある方の声をご紹介したいと思います。

三舛　亜矢さん（阿万在住、28歳）

地域で暮らしている障がいのある方にお話しを聞いてみました！

両親、祖父母と5人暮らし。高校は徳島の養護学校に通い、寮生活を送っていました。高校卒業後は自宅に戻り、福祉サービスを利用しながら生活しています。普段は、福祉サービスの利用以外に卓球バレーに取り組んでおり、昨年10月には全国大会に出場しました。また、好きなアーティストのライブにも毎年何度も行ったり、徳島へ映画を観に行ったりすることが楽しみだそうです。楽しみをたくさん持っておられ、多くの人に出会うことや話をすることも大好きです。なでしこデイサービスセンター利用日には、南あわじ市社協の職員が来た時に話したり、最近では時々社協へ行って職員と話すことを楽しみにしています。

●現在、どのようなサービスを利用していますか。

なでしこデイサービスセンターの生活介護を週1日利用し、入浴サービス・レクリエーション・他者との交流をしています。また、ウインズ（就労継続支援事業B型）を週4回利用し、紙すき工房で材料となる紙を切ったり、材料の重さを測るなどの作業をしています。訪問看護（リハビリ）も利用しており、歩行訓練や腕立て伏せなどリハビリに取り組み、毎日忙しいそうです。

●今後の想いや夢、したいこと

色んな所に行ってみたい！　クライミングをやってみたい！
面白そうなことにはチャレンジしてみたい！

南あわじ市内にお住まいの男性

●現在、どのようなサービスを利用していますか。

居宅介護（ヘルパーに掃除、調理を手伝ってもらっている）
地域活動支援センター「いちばん星」（百歳体操に行っている）・・週1回
ピアサポーターによる訪問（おしゃべりや外出など）

●サービス以外で普段は何をしていますか。

倉庫の片付け。
血圧など測定し記録すること。
今日あった出来事を記録すること。
仏壇のご両親にお供えすること

●今後の想いや夢、してみたいことなど

回転ずしで食事をすること！
買い物に出かけて、洋服をみたい！

●楽しみにしていること

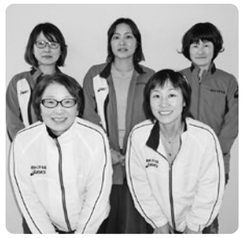
テレビで放送されているスポーツ観戦（特に野球や相撲）
ピアサポーターとのおしゃべり（以前は…、落語に興味を持ち、語り真似を練習していたこともあった）

ピアサポーターとは
同じ症状や悩みをもつ人を支援する人のこと

南あわじ市社協で行っている事業などをご紹介♪

相談支援事業所

障がいのある方の相談窓口です。「こんなときどうしたらいいの？」「こんなお手伝いをしてほしい」など、生活での困りごとや、悩みごとをお聞きします。



訪問介護事業所

地域の中で、自分らしい暮らしができるようお手伝いします。利用者のお宅で、日常的な家事や食事の手助け、入浴の介助などを行います。

なでしこデイサービスセンター

生活介護

常時介護などを必要とする障がい者の方が、安定した生活を営めるよう、食事・入浴・排泄などの介護や日常生活上の支援を行います。

障がい児通所支援事業

就学前～小学生の子どもを対象として、個別療育、園・学校訪問を行い、日常生活をスムーズに楽しく過ごすための支援を行います。

障がいのある方の居場所づくり

〈つながりサロン〉
お花見や買い物、お出かけなど楽しいレクリエーション活動を行っています。（奇数月）

〈スポーツ交流教室〉
思いっきり体を動かしたい！という方々とフットサルなどスポーツを楽しんでいます。（不定期開催）

〈音声パソコン教室〉
視覚障がいのある方のパソコン教室です。音声の出るソフトで操作を学びます。（毎月）

〈よかさ～くる“あつまらんか！”〉
余暇支援を目的に、障がいのある学齢期の子どもたちを対象にしたサークル活動です。（夏休み期間）

●今までそんなに広報を読んでいなかったのですが、年金を頂く歳になり何回も関心しながら読んでいます。色々サロンがあって楽しそうですね。まだ仕事をしているのでなかなか参加できませんが、先で皆様の輪に入れて下さい。

●新しいサロンの紹介の所が良くて、各地域の様子がよく分かり、良かったです。「わかば」が届くのを楽しみにしています。

前回「わかば」の感想
抜粋して一部紹介します。

コーナー

お問合せ・申込み：☎0799-44-3007

日常生活自立支援事業のご案内

在宅で生活されていて、判断能力に不安のある方の福祉サービスの利用手続きや金銭管理のお手伝いをする事業です。

〈利用できる方〉

1. 判断能力に不安のある高齢者や知的障がい者、精神障がい者の方などで本人の意思が確認できる方
2. 自宅に住んでいる方やグループホームやケアハウスなどに住んでいる方

〈支援内容〉

1. 福祉サービス利用の相談・手続き
2. 各種支払い手続き
   金融機関での出入金、通知の確認
3. 通帳や印鑑、年金証書の預かり

赤い羽根共同募金にご協力をお願いします！

今年も10月１日から共同募金運動がはじまります。共同募金運動は、最も身近でできるボランティア活動として、今年で73回目を迎えます。集められた募金は、市内の子どもたちや高齢者、障がいのある方、地域活動などさまざまな活動に役立っています。今年もみなさまのあたたかいご協力をお願いします。

集められた募金の約9割が南あわじ市内で活用されます。残りの1割は災害支援などのボランティア活動などに充てられます。

募金箱を設置していただける事業所様を募集しています！

今年も福祉のおまつり開催します

今年も各地区で地域住民のつながりの輪を広げることを目的に福祉のおまつりを実施します。

- **11/9（土）** **なんだん福祉まつり** ／賀集地区公民館
- **11/10（日）** **せいだんふれあい交流のつどい** ／湊地区公民館
- **11/23（土）** **みどりふれあい福祉のつどい** ／広田地区公民館
- **2/9（日）** **みはら福祉のつどい** ／中央公民館

ボランティア募集！

上記の福祉のおまつりで一緒に活動してくださるボランティアを募集しています。

★着ぐるみボランティア
社協キャラクター「み～あ」として会場を盛り上げましょう。

★各ブースのお手伝い
受付や各種催しなど会場運営のお手伝いです。

★共同募金運動の啓発
赤い羽根共同募金運動のPR活動のお手伝いです。

詳しい内容については、お問合せください。

●山添のなかよし会の会合において、社協さんから健康マージャンを借り、先日も楽しい時間を過ごしました。

お知らせ

「無料法律相談」のご案内

日常生活上での法律に関わる全ての問題について、相談を受け付けます。

場　所：旧緑庁舎　202会議室
日にち：奇数月の第3水曜日
令和元年　11/20
令和２年　1/15、3/18
時　間：いずれも13時～16時
※相談は一人30分（申込順）
※相談は無料。秘密は厳守。
弁護士：菜の花法律事務所 寺岡良祐 氏
申込み：実施日の前の週の金曜日までにご予約ください。予約は1回の開設につき先着順で6名までとなります。
TEL：0799-44-3007
対　象：南あわじ市内在住、在勤の方

淡路高次脳機能障害家族会「いざなぎ」からのお知らせ

「いざなぎ」では、淡路島内を対象に、高次脳機能障害がある当事者が困っていること、支える人が困っていること、将来の不安なことについて話し合える、わかり合える仲間がほしい！との思いから2015年から集まりを続けています。

同じ思いでお悩みの方は、一度お問合せください。

開催日：毎月第2金曜日
（1・8月はお休み）
時　間：10時～12時
場　所：田井会館
（淡路市志筑田井1625-2）
参加費：100円／1回
問合せ：0799-70-1575（事務局：杉山）

登録ヘルパー募集
担い手養成研修修了者も同時募集！

内容：利用者のお宅で日常的な家事や食事の手助け、入浴の介助など
資格：介護職員初任者研修（ヘルパー2級可）
時給：生活援助 1,200円
身体介護 1,400円
※土・日・祝は300円UP
※交通費100円／１件
時間：8:00～18:00のうち数時間

担い手養成講座修了者の詳細についてはお問合せください。

★短時間でもOK
★ブランクのある方も大歓迎！

私たちと一緒に楽しく働きませんか？

シルバーカーをお譲りします

この度、地域の方からシルバーカーを寄付していただきました。そこで利用を希望される方を探しています。

希望される方は、①氏名②住所③電話番号を10月末日までに社協まで、ご連絡ください。なお、希望者多数の場合は抽選により、決定させていただきます。

譲渡後の修繕、消耗品の交換などについては、利用者負担となりますので、ご了承ください。

●二十年、三十年前とは違い、皆様が楽しく時間を過ごされているようですね。

地域の活動 ええ和・話・輪

心機一転☆改めて自己紹介！中筋いきいきサロン

広田地区の中筋いきいきサロンは、平成24年度より活動されています。営農教室、料理教室の開催や、更に毎年12月には中筋地区の子どもたちとクリスマス会を企画されたりと、イベントにも力を入れて活動されているサロンです。7月のサロンでは、いずみ会の料理研修の一環で『夏を乗り切るスタミナ料理』を一緒に作りました。

1回の参加人数が約30人近くと大人数の中筋サロン。最近では、「お互いの顔は知っていても、話したことがない方も…」「昼食後はすぐに解散してしまう」といった現状があったようです。そんな中、「せっかくの集まる機会なのにもったいない。少しでも居場所作りのきっかけにしていきたい！」という熱い声が、メンバーより挙がりました。

そこで今回、会食後のまったりとした午後のひとときを使って、自己紹介を含めたゲームを行いました。サイコロを振って、①～⑥までお題を用意し、出た目の内容を全員に発言していただきました。最初は恥ずかしさからか遠慮気味に発言されるみなさまでしたが、ひとたび盛り上がると和気あいあい、大きな笑い声が絶えませんでした。楽しくおしゃべりすること、たくさん笑うことは元気の源になりますね。この機会が、今後サロンのみなさまのつながりを深めるきっかけになってほしいと思います。

八木馬回集落でのブルーベリーづくり
～ 半分遊び、半分仕事 ～

馬回集落とブルーベリーの出会いは平成16年までさかのぼります。当時、集落内には好奇心旺盛な40代～50代が集まった中山間事業に携わるメンバー達がいました。しかし一方では、集落内では近所付き合いはありましたが、道で出会っても立ち止まってゆっくり話をするということはあまりないという状況でした。

中山間事業主催の視察研修先でメンバー達と立ち寄った苗木屋さんに、実をつけたブルーベリーの苗木が置いてありました。「こんな美味しそうなブルーベリーを植えていたら孫が来た時に喜ぶやろな」。これがブルーベリーとの最初の出会いです。そんなちょっとしたきっかけから、集落全体で栽培に取り組むことになり、栽培方法を学ぶための勉強会を開くことになりました。勉強会では親子ほど年の離れた集落の人が互いに教え合ったり、また道で出会った際には車を停めて「ブルーベリーの調子はどないで？」と声をかけあうようになっていきました。また一人暮らしの高齢者からは「つながりができて寂しくなくていい」という声も聞かれるようになりました。思わぬ展開です。

ブルーベリーの栽培が地域の共通点となり、住民がつながっていったのです。今では美菜恋来屋に出荷し販売するなど集落の活性化にもつながっています。半分遊び、半分仕事。今後の馬回地区の活動に注目です。

"ええ和・話・輪"で紹介してほしい活動があれば、ぜひ社協までご連絡ください♪

●相談・お困りごとなど様々な活動があることがこの広報で知れて勉強になります。

「傾聴ボランティア入門講座」を開催しました

7月に4回にわたり、「傾聴」の基礎を学ぶ講座を行い、22名の方にご参加いただきました。施設での実践も交えながら、傾聴の心得やポイントを学びました。また、アイマスク・白杖体験やボランティア活動者のお話を聞くことで、実際の活動をイメージした講座内容となりました。受講者からは、「寄り添う心の大切さを感じた」「初めての受講でも楽しく学ぶことができた」との声をいただきました。

みなさんは今後施設などでの活動を予定しています。

「災害ボランティア養成講座」を開催しました

8月2日に「災害ボランティア養成講座」を開催し、14名の方にご参加いただきました。

社協職員より、「災害ボランティアセンター」の役割について説明したあと、東日本大震災や、昨年の倉敷市真備町の豪雨災害の被災地で、ボランティアとして活動した方のお話を聞きました。グループでの話し合いでは、それぞれのボランティアの経験談や、日頃の備えについてなど、活発な意見交換がおこなわれ、受講者からは、「実際の活動者の話が聞けて良かった」「ボランティアの必要性が分かった」との感想をいただきました。

災害が起きないことを願うばかりですが、いざという時のためにも、災害にも強い地域づくりを目指していきたいと思います。

ふくしクイズ

表紙のみ～あは
どこにおでかけしたでしょう？
○○○○ 公園
（ひらがな）

第56号のふくしクイズの答えは「うずしお」でした。

■応募方法 はがきに①クイズの答え②社協へのご意見③郵便番号④ご住所⑤お名前⑥お電話番号⑦年齢をご記入の上ご応募ください。

■締め切り 10月31日（木）必着

■応 募 先 〒656-0122
南あわじ市広田広田1064
南あわじ市社会福祉協議会

◆応募者の中から10名の方に図書カードをプレゼント!
◆当選者の発表は、商品の発送をもって代えさせていただきます。

今年も「よかさ～くる"あつまらんか！"」を開催しました

今年度からは、障がいのある子どもたちの余暇支援だけでなく、親やきょうだいも一緒に参加することで、家族同士のつながりづくりも目的として実施しました。

映画観賞会に海でのマリンスポーツ、障がい者スポーツの体験など、初めての企画ばかりでしたが、どの回も子どもたちの笑顔が溢れ、夏休みのいい思い出になったことと思います。

あわじ特別支援学校の先生や、ボランティア、市内の事業所など多くの方にご協力をいただき、ありがとうございました。

●何故「み～あ」という名前なのでしょうか？
→「みなみあわじ」から取りました